

平成25年5月定例記者会見要旨（平成25年4月30日開催）

市長発言内容

1. 1期目の成果と今後の課題について

「人口増やして元気なまちに」をスローガンに、にぎわい創出に力を入れてきた。

1年目は地盤固めの年（出前ミーティング・目安箱等）

2年目は構想の年（「古のロマンのまち坂出」、歴史的遺産を生かしたまちづくり）

3年目は実行元年（機構改革、政策提案制度、公共交通）

4年目はさらなる飛躍の年（保育料の減額等、瀬戸内国際芸術祭 2013）

【実績】

職員 部課長会、職員提案制度

にぎわい 崇徳上皇バスツアー、国府所在地確定、瀬戸内国際芸術祭 2013、
瀬戸大橋 25 周年記念アニバーサリーウォーク

公共交通 デマンド型タクシー・市内循環バス

公共施設 市立病院着工

【今後の課題】

①防災・減災対策

・公共施設の耐震化（人工土地（25 年度政策提案課題）、市役所本庁舎、
美術館・図書館、保育所等）

・防災基地、拠点としての役割（坂出北 IC のフルインターチェンジ化、ため池の調査）

②住民参加の新たなシステム作り

③1期目のにぎわい創出のさらなる推進

Q. 瀬戸内国際芸術祭の作品の再展示などは考えているか

本日開催予定の芸術祭実行委の会議で関係者に意見を聞きたい。参加アーティストの神戸芸術工科大学とタイアップした新たな展開について、現在協議を進めているところ。